

ピアニスト渋谷毅さんら参加

ジャズCD完成



闘病中の中山さん

(パノニカ元経営者)

夢かなう



病に倒れる前の中山信一郎さん

27日に記念ライブ 鹿児島市

二〇〇〇年に閉店した鹿児島市のジャズクラブ、パノニカの元経営者で、〇五年に脳梗塞で倒れ闘病中の中山信一郎さん(七三)が

倒れる直前に「自分の夢」として企画したアルバムが完成した。「We'll Meet Again」。中山さんと親交のあったジャズピアニスト渋谷毅さんらが、中山さんがリクエストした曲ばかり十二曲を演奏している。

渋谷さんは、日本ジャズ界屈指のピアニスト。一九六七年に中山さんが、渋谷さんの音にほれ込み、パノニカでのライブを通して鹿児島のジャズファンと交流を続けてきた。初アルバム「ドリーム」(七六年)は、パノニカで録音した演奏を中山さんがプロデュースした。

十二日発売されたアルバムには、渋谷さんのほか、さがゆきさん(ボーカル)、潮先郁男さん(ギター)が参加。中山さんは、倒れる二カ月前、ライブの打ち上げで行った霧島の温泉で、三人にアルバム製作を持ちかけた。その後、収録を希望する十六曲のリストを記した手紙を送ってきた。「夢ですが」と結ばれていたという。

二十七日には、鹿児島市のキャパルポホールで記念ライブが開かれる。渋谷さんは取材に対し、「アルバムを持つて鹿児島に行きます。中山さん、それから鹿児島仲間になんていつて聴いてもらおうか」とコメントを寄せた。

アルバムやライブの問い合わせは、元パノニカのマネジャー、森田さんへ070(5482)1248。